

ひとづくり

第26号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 令和6年10月発行

LEADING EDGE 四国に2チーム採択されました



令和6年8月9日（金）に LEADING EDGE 四国の最終選考会が開催されました。これは、未踏的な地方の若手人材発掘育成事業であり、四国にゆかりのある、独創的なアイデアを持つ若者が、県内企業の課題解決に挑み、新規事業の創出を目指すプログラムです。

最終選考会には、中四国の高校、高専、大学より選考された10組が出場し、参加する地元企業が提示した課題を実現するための様々な新しい発想について、プレゼンテーションを行いました。発表者は、8分間の中でオリジナリティあふれる発表を行い、新規性や熱意など4つの観点で評価され、最終選考の結果、6組が採択されました。そのうち、本校から出場した2チームが見事採択されました。

採択された2チーム

■ チーム離島人材「MaRinaid～MR デバイスとスターリンクを活用した航行支援システム～」:

田房蓮一郎（情報工学科3年）、ENKHTUVSHIN BATBOLD（情報工学科3年）、下見真生（専攻科2年）、小井川秀斗（専攻科2年）

■ 「Eco Sunshade～脱炭素に貢献しながら快適な夏を過ごす～」: 平松夏々翔（情報工学科2年）

2チームの代表者は、9月上旬よりマレーシア、シンガポールで海外研修を行い、課題解決に向けてさらなる知見を深めました。その後、サポート企業と共に課題解決に取り組み、令和7年1月に最終報告会を実施する予定です。

高専から海外への挑戦



情報工学科 3年 田房 蓮一郎

私たちは「~未踏的な地方の若手人材発掘育成事業~LEADING EDGE 四国」にチーム離島人材として応募し、2024年度のクリエイターとして採択されました。これは、四国を代表する企業が未来に向けて本気で考えている課題（クエスト）に対して、応募者が提案したアイデアで解決に向けて取り組んでいくプログラムです。

本プログラムの一環で、マレーシアのマラヤ大学とシンガポール国立大学への海外研修に行き、そこで取り組まれているスタートアップ企業の方のお話を聞くことができました。セメント不使用のサステナブルコンクリートの研究や、SNSのメッセージを読み取り、返信やスケジュール管理などを全て自動的にできる次世代型AIの開発など、未来がワクワクするものばかりでした。

これらの経験は、自分の将来を見つめ直す良い機会になりました。世界には未来を変えるかもしれない、想像を超えるソリューションがたくさんあります。それらに自分が関わりたい、あるいは新たに生み出したいと思いました。

本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」



令和6年7月23日（火）、本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」が、本校の電子機械工学科4年生および情報工学科4年生を対象に開催され、学生82名と教員3名が受講しました。この講座は、2020年より本田技研工業株式会社の社会貢献活動プログラムとして実施されているもので、本校では初の開催となりました。

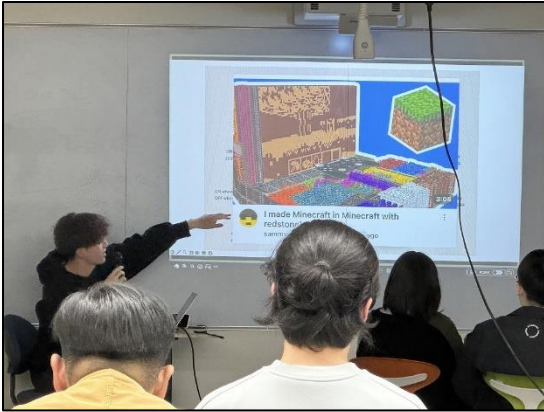
当日は、総務部社会貢献推進室から4名がお越しくださいました。講義は、「製品開発の仕事とかける想い」「生産技術開発エンジニアの仕事と伝えたい事」「ホンダで働く高専卒業生から現役生へのアドバイス」の3テーマで行われ、製品開発や生産技術開発の現場で働くエンジニアの雰囲気を感じられる構成でした。本校の学生は、夏季休暇中にインターンシップに参加する学生が多いことから、真剣な表情で聞き入っていました。

アクセンチュア株式会社「情報セキュリティ基礎とセキュリティの近年の動向」に関する講座



令和6年10月10日（木）、アクセンチュア株式会社による「情報セキュリティ基礎とセキュリティの近年の動向」に関する講座を、情報工学科4年生を対象に実施しました。この講座は、産学連携活動として、CompTIA スカラーシッププログラムを通じたセキュリティ人材育成のため実施されています。講座後に、キャリア座談会も実施し、セキュリティ業界で働くことについて、さらに学びを深めました。

高専グローバルキャンプにて本校の学生がインストラクターとして登壇しました



令和6年3月23日（土）～29日（金）、高知高専にて高専グローバルキャンプが開催されました。

今回のグローバルキャンプには主に東南アジアや他高専から多くの学生が集まり、異なる文化や専門分野の交流が行われる貴重な場となりました。その中で、情報工学科3年生の真木一平さんが特別なショートレクチャーを行いました。真木さんはマインクラフトの世界規模プロジェクトである **Build the Earth** の日本支部リーダーを務めています。今回のグローバル

キャンプのテーマは「防災教育」であり、マインクラフトによる津波のシミュレーションや浸水箇所の想定といった活動に先んじて、マインクラフトを使ってできることや教育への応用について英語で解説しました。

参加者たちはマインクラフトが単なる娯楽としてのみではなく、学びやコミュニケーションのツールとしてどのように活用されているかについて議論し、新たなアイデアを共有するきっかけになったようです。

上島町特別養護老人ホームにおいてお散歩ボランティア活動を行いました



上島町特別養護老人ホーム海光園において、利用者さんの車椅子を押しながら、一緒にお散歩を行うボランティア活動が、6月からスタートしました。この取り組みは、コロナ禍を除いて毎年実施されており、今年度は学生40名以上の応募があり、交代でお年寄りとお散歩を楽しみました。

また、本校ではスマホ教室や小学校での放課後塾、海岸清掃など地域に貢献するボランティア活動も実施されています。

情報工学科3年生の航海実習と会社見学を実施しました



5月15日（水）～16日（木）の二日間で、情報工学科3年生が航海実習を行いました。

本校から弓削丸で高松港へ出発し、株式会社NTTドコモ四国支社、株式会社タダノの2社で企業見学をさせていただきました。NTTドコモでは、最新技術のVRから自分たちの生活を支えるインフラ、災害対策と様々なものを見学し技術に目を輝かせていました。株式会社タダノでは、巨大なクレーンの製造工程の見学を行い、実際に操縦者として触れることでたくさんの学びを得たようです。

情報工学科 1 年の授業風景～リレー回路の作成～



情報工学科 1 年生では、コンピュータの基本的な構成要素であるリレー回路を授業で作成します。複数人で作成したコイルやスイッチを組み合わせて、論理回路や半加算器を組み立て、動作を確認しました。授業で習った内容を、実際に手を動かし、組み立てて動作を確認することで学びを深めていきます。この他にも、Word、Excel、PowerPoint の基本的な使い方、ビジュアルプログラミングを使ったロボットプログラミングなどを学びます。

情報工学科生の活躍

今年度は各種高等専門学校体育大会にて、情報工学科生が以下のような好成績を残すことができました。

第 61 回四国地区高等専門学校体育大会

- | | |
|-------------------------|--|
| 【陸上競技】 女子 女子走幅跳 1 位 | : 田房 真歩(5 年) |
| 男子 110mH 1 位 | : 小林 大聖(5 年) |
| 【剣道部】 女子団体準優勝, 女子個人 3 位 | : 藤原 歩華(3 年) |
| 男子団体準優勝 | : 金子 心(1 年) |
| 【柔道部】 女子 63kg 級優勝 | : 井上 結子(1 年) |
| 【卓球部】 女子団体準優勝 | : 岡田 凜(3 年),
岡野 晴菜(3 年),
菅原 小鈴(3 年),
宮崎 心麻(1 年) |



【陸上部】 走幅跳, 110mH 1 位

第 59 回全国高等専門学校体育大会

- | | |
|--------------------|--------------|
| 【柔道部】 女子 63kg 級準優勝 | : 井上 結子(1 年) |
|--------------------|--------------|



【柔道部】 女子全国準優勝



【剣道部】 男子・女子団体 準優勝



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<https://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成 23 年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。